

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社あさひ	代表者	長澤 深幸	法人・事業所の特徴	利用者様ひとりひとりが「ここが自分の居場所だ」と自然と思えるよう受容的態度、家庭的な雰囲気を大切にし、利用者様を主体としたケアを取り組んでいる。地域交流にも力を入れており、地域行事への参加やボランティア受け入れ、外出なども積極的に行っている。					
事業所名	日の出	管理者	長澤 深幸							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所の取組について、運営推進会議等で説明するほか、外部評価時などは取り組んでいる内容が分かるよう書面も用意する。	事業所の活動がより具体的に伝わるように、運営推進会議の議案の書き方を見直し、取り組みを分かりやすく示す工夫を行った。	事業所内で問題が発生した場合など、全員で確認して改善計画を実施していることが分かった。	事業所の取り組みについては今後も継続するほか、外部評価時などは書面等も用意して取り組みが分かるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染対策を行いながら施設内外の環境整備を行うとともに、どんな工夫を行っているのかが分かるようにしていく。	感染対策や環境整備は継続して行っている。特に今年は、利用者様が快適に過ごせるように、温度計を随時確認しながら適切に室温の調整を行った。	来所時は、快適な環境になっている。施設が誰でも立ち寄ってよいように開放されていることは知らなかった。	感染対策を行いながら施設内外の環境整備を行うとともに、事業所が地域に開放されていることが周知できる取り組みを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	現状、利用者様が地域行事に参加する事は難しいため、職員が地域行事に参加する。施設の様子が地域の方に伝わるよう、情報発信の方法を工夫する。	施設を代表し、職員が地域のボランティア活動や地域ケアネットワークなどに参加している。施設の様子は、今のところ運営推進会議での発信しかしていない。	事業所として、区の防災問題に協力したりしている。施設の中の事が地域の人に分かるような取り組みを行った方がよいのではないか。	普段は地域の方々には見えにくい事業所の日常を、広報を通じて伝えられるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	運営推進会議や広報などを活用し、認知症相談窓口が設置されていることを周知していく。	公報などは作成できなかった。ホームページには記載されているものの、更新が滞ってしまっている。	施設の中の取り組みが分かりにくいので、広報などを作つて回覧し、情報発信してはどうか。	感染対策を行いながら、地域と交流できる取り組みを進める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	まずは運営推進会議の中で、事業所のサービスや取り組みについて分かり易く伝え、地域密着型サービスの役割についての理解を得られるようにする。	事業所の活動がより具体的に伝わるように、運営推進会議の議案の書き方を見直し、取り組みを分かりやすく示す工夫を行った。	施設の中の問題点や改善点などが、運営推進会議のなかで伝わっている。	今後も運営推進会議の中で取組等について分かりやすく説明し、事業所の役割についての理解を得られるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の避難訓練において、地域の消防団や駐在所と連携する機会を持ち、事業所の状況を知つて貰う。	年2回実施している避難訓練のうち、R6.10に実施した避難訓練では地域の消防団や駐在所の方等にも参加していただいた。地域の防災学習に職員が参加した。	事業所は避難訓練や災害対策に取り組んでいるほか、区の防災・災害にも協力している。そういう事を、区の人たちにも周知した方がよいのでは。	事業所内の災害対策のほか、地域での避難場所として利用できることなどを広報等で周知していく。